

市政に対す

一般質問

一般質問とは、議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

9月定例会では17人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合上、主なものを掲載しました。

農業行政

農地

中間管理事業の活用

江川 直一
(公明党)

後にも必要に応じて取り組む予定である。

問 市外居住者、耕作意思のない後継者への事業活用は。

答 定期的に調査を行い農地中間管理事業の案内、利用意向調査等を行っている。

●お祭り補助金

問 祭りは本市の観光資源の紹介に大きな貢献を果たしている。リピーターを作るため、新しいアイデアと実行予算が必要である。補助金等の要件及び増額の考えを聞きたい。

答 行田市補助金等交付規則に基づき、祭りの開催目的や規模、各祭り間の金額のバランス等を総合的に考慮し決定している。増額は、節目の記念事業等、ふさわしい内容に対し、財政当局と協議し可能

問 農地中間管理事業による農地の集約は、耕作放棄地の削減や耕作コスト削減等につながり、担い手の農業経営規模の拡大や新規参入者への支援となる。田んぼ2枚でも事業の恩恵を受ける事が可能であるほか、地域の理解と用地の寄附により、個人負担なく、農道の拡幅や水路整備等が可能である。今後モデルケースをつくる考えはあるか。

答 市内2箇所のモデル地区を設定し、実施しており、今

な限り対応していきたい。

教育行政

夢ある子ども
育成事業について香川 宏行
(新政策研究会)

問 Jリーグやプロ野球等さまざまな一流スポーツ選手を小学校等に派遣し、選手と一緒にゲームすることや講義を通し、フェアプレー精神や夢を持つことのすばらしさ、夢に向かって努力することの大切さ、失敗や挫折に負けない心を子どもたちに伝える日本サッカー協会のこころのプロジェクト「夢の教室」という事業がある。

答 教育委員会は、どのようにこの事業を認識しているか。

答 選手自らの体験をもとに実技や講義を通して、夢に向かい希望と勇気を持つてやり遂げる態度を育てることができると認識している。

問 教育委員会として、市内全小学校でこの事業に取り組みべきと考えるがどうか。

答 教育委員会主導ではなく、

各学校の判断に委ねたいと考えている。なお、本市では市独自の施策として寺子屋事業（未来の行田を担う子ども育成事業）を実施し、各学校に交付金を配分している。国や県の事業はもちろん、この交付金を各学校で主体的に活用することで、子どもたちの夢と希望を多面的に育んでいきたいと考えている。



夢の教室の様子

公園整備

忍沼川水路
護岸工事吉田 豊彦
(新政策研究会)

問 現在、県道行田蓮田線の天満社から常盤通にかけて、忍沼川水路護岸工事が実施されているが、工事全長は何m

か、また工事完了の予定は。

答 宅地側の護岸の崩壊防止と水城公園内の治水対策の強化を目的に、全長約300mの区間において自然石に近いブロックによる周辺環境に配慮した護岸整備を進めている。残る103mの整備については、早期の完了に向け、鋭意取り組んでいく。

問 工事現場付近に不動産会社の広告塔がある。鉄板がめくれている、さびがあるなど危険な状態である。対処は考えていないのか。

答 看板の大きさや高さが県の条例の設置基準外となっており、昨年から広告塔の管理会社に撤去を依頼しているところである。

●防犯カメラの設置について

問 埼玉県において、市町村が行う防犯カメラの設置に対する補助制度があるが、制度活用の考えはないのか。

答 プライバシー保護等の観点から設置は慎重に行うべきと考えており、今後、行田警察署とも協議しながら効果、運用方法、プライバシー保護などを研究していく。